



西洋シャクナゲ '紅小町' 画/植田由喜子

シャクナゲは、「花木の王様」と呼ばれ、咲いている花姿が美しく、低木で育てやすい春を彩る花木です。シャクナゲの原種が19世紀中期、中国や日本から西歐にもたらされ、その花の美しさと豪華さで当時の人々を驚嘆させ、数多くの交配が行われました。日本では西洋シャクナゲとして出回っています。「紅小町」は中輪咲で華やかな赤が印象的な品種です。

花かがみ

HANA-KAGAMI

発行人/小笠原 馨 発行所/名古屋園芸株式会社
〒460-0905 名古屋市中区東横2-18-13 tel. 052-931-8701
http://nagoyaengei.co.jp/

18 2

石ふ屋園芸



節句の花飾り



バースデーフラワー

～アメジスト～



ブーケ ¥3,500 + 税



① アレンジ (small) ¥3,500 + 税



② アレンジ (large) ¥5,000 + 税

まだまだ厳しい寒さが続きますが、日ざしの明るさに春の気配を感じる季節となりました。寒気の中にも早春の息吹が感じられる2月のイメージにピッタリな今月のおすすめ、アメジストカラーのフラワーギフトはいかがでしょう。

アメジストとは2月の誕生石のこと。宝石の中でも珍しい紫色をしています。和名は「紫水晶」の別名を持っており、その名の通り透き通る紫色が美しい宝石です。

12箇の誕生石の中でも、白く瑞々しい輝きを放つダイヤモンドは人気ですが、アメジストもまた、紫という高貴な色のイメージから崇高な石として、古くから愛され続けています。その理由は石に込められた意味、「真実の愛、誠実」にあると言えます。

宝石という観点だけでなく、アメジストに込められたメッセージをプレゼント添えて贈られるのも素敵な演出になるかと思えます。

また、2月は春の花の出荷が盛んになる季節でもあります。チューリップ、スイートピー、ラナンキュラス…。そんな花たちでコーディネートされたフラワーギフト。そして今月も誕生石カラーのスワロフスキーを添えてご提案いたします。花かがみを見たとお申しつけください。今月も大切な日の贈り物にプレミアムなフラワーギフトはいかがでしょう。

information

完熟ローズの販売がはじまりました

花かがみ1月号でも紹介した完熟ローズの販売がはじまりました。地元・稲沢の生産者さんとタイアップしてご提案している種上のバラ苗の事です。名古屋で育てやすい品種を選定し、育苗から名古屋に近い環境で育て、通りあげ適期までじっくりとふかふかの畑で『完熟』させたバラ苗は、秋に出回るバラ苗よりも太くがっしりとした株に。土にも肥料にもこだわり、名古屋園芸オリジナルの配合でブレンドした用土でスタッフが植え付けます。そのため、春の花つきは驚くほどの。40品種前後の販売予定です。数量限定商品ですのでお早めどうぞ。



アストリッド・グレーフィン・フォン・ハルデンベルグ

食物和歌本草増補

二書共 村野時俊 宝珠文庫刊
理 (二刷) 雑花堂文庫



和歌食物本草

花の博物館

第265回

和歌食物本草 食物和歌本草増補

七冊 山岡元隆(号而愷齋)編
寛文七年(一六六七) 水田甚左衛門刊

小笠原左衛門時亮刊

和歌食物本草は、能毒や食合せ、食用の時期などを和歌に詠みこんで覚えやすくしたもので、本書は二四〇種の(草、薬、果、獣、鳥、魚など)食品を取り上げ、イロハ順に七八七首の和歌を載せる。

いもはただ 冬ばかりくへ 余の月は 食すべからず やまひおこれり

いちご平 甘くとくなし 脾胃によし おんな食して 懐妊となる

人参は あさゆう食し えきぞある 五臓おきなふ ものとしるべし

食物和歌本草の増補版としていますが、実質的には新しく著作されたとした方がよい位の書、和歌は二七〇首に及び、宜禁本草集要歌の新収歌などを加え、更に本草綱目からも多くを引用した。

蓮根は あじはひ甘く 毒ぞなき 熟柿で唯の 湯ぞよき

梅子は 甘く平也 毒もなし 中を開へ 氣力ます也

二書共に和歌三十一文字として、医学的知識の少ない人々に役立つことであろう。しかし今日の医学から見れば不合理な部分も多くあると思われる。

園芸店にとって、2月とは



「春を待ち焦がれて」といった早春系の記事は大抵1月号に登場してしまいましたが、かといって「春の園芸シーズ到来！」にはまだまだ寒さが続きます。何よりそれは3月号のネタが無くなってしまうので、はてさてどうしたものかと考えあぐねているのですが、結局のところこうした現状の手持ち無沙汰感、お客様&園芸店スタッフ双方の「早く暖かくなってくれ」というムズムズとした春への期待感が2月という時期なんですよ。

「春を待ち焦がれて」といった早春系の記事は大抵1月号に登場してしまいましたが、かといって「春の園芸シーズ到来！」にはまだまだ寒さが続きます。何よりそれは3月号のネタが無くなってしまうので、はてさてどうしたものかと考えあぐねているのですが、結局のところこうした現状の手持ち無沙汰感、お客様&園芸店スタッフ双方の「早く暖かくなってくれ」というムズムズとした春への期待感が2月という時期なんですよ。



まずはなんと言っても！2月の展示会シーズンです。この時期花屋さんの手が空くのは全国共通。各園芸関連メーカ！さんが春からの新商品を携えて全国各地の展示会を飛び回っているのです。私たちも何ヶ所かの展示会で新たな商品を買って付けたきました。早い商品だと2月上旬には店頭にも並び始めます。そう、実は2月って新たな鉢や資材にいち早く店頭で出会える良い機会なんです。

秋植え球根が芽吹いて来るように、着々と春の園芸を待つ園芸店。待ちきれない様様にも早期来店特典があることはお分かりいただけたかと思えます。展示会やカタログでピピッときたあの鉢やこの植物が皆様のご自宅に迎えていたたけることを期待して、この風変わりな記事を終えたいと思います。春の名古屋園芸もご期待ください！